

Market Watching

市場レポート

テーマ：マンスリーマーケットレビュー（2006年10月）

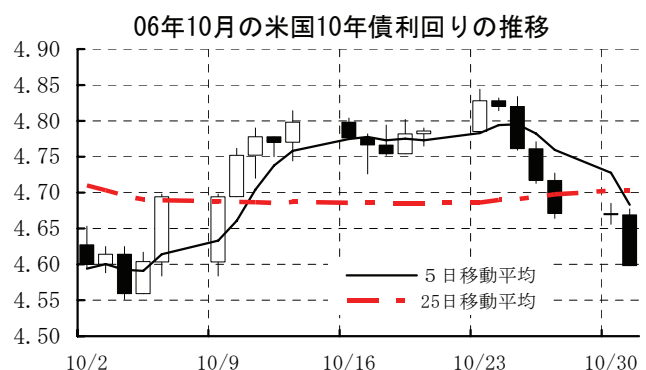
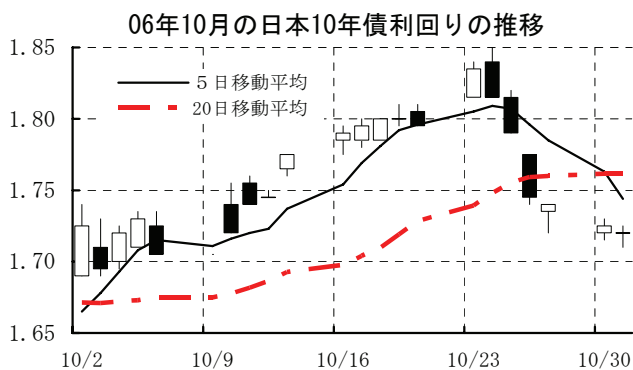
発表日：2006年11月2日（木）

第一生命経済研究所 経済調査部

担当 鷹峰 義清 (03-5221-4521)

【債券市場】

		前月の動き					過去の動き				
		月末値	月中高値	月中安値	前月末値	月間騰落率	月間騰落率				
							6カ月前	5カ月前	4カ月前	3カ月前	2カ月前
日本	TIBOR3M	0.452	0.452	0.442	0.441	+1.1bp	+12.6bp	+7.7bp	+9.5bp	▲0.4bp	+0.3bp
	2年債	0.735	0.806	0.655	0.660	+7.5bp	+16.5bp	+1.0bp	▲1.6bp	▲18.4bp	+1.0bp
	10年債	1.720	1.850	1.690	1.670	+5.0bp	▲9.0bp	+9.0bp	▲0.5bp	▲29.5bp	+5.0bp
米国	LIBOR3M	5.371	5.380	5.368	5.370	+0.1bp	+10.8bp	+24.3bp	▲1.5bp	▲6.8bp	▲2.7bp
	2年債	4.693	4.906	4.583	4.683	+1.0bp	+17.5bp	+11.7bp	▲20.0bp	▲17.5bp	▲9.2bp
	10年債	4.598	4.844	4.551	4.578	+2.0bp	+6.9bp	+1.7bp	▲15.7bp	▲25.3bp	▲9.8bp
欧州	LIBOR3M	3.566	3.566	3.424	3.417	+14.8bp	+7.6bp	+13.0bp	+10.5bp	+10.1bp	+15.4bp
	独2年債	3.678	3.743	3.575	3.585	+9.3bp	▲2.4bp	+21.9bp	▲6.2bp	+1.0bp	+6.3bp
	独10年債	3.741	3.884	3.690	3.709	+3.2bp	+3.1bp	+8.9bp	▲15.0bp	▲16.1bp	▲5.1bp



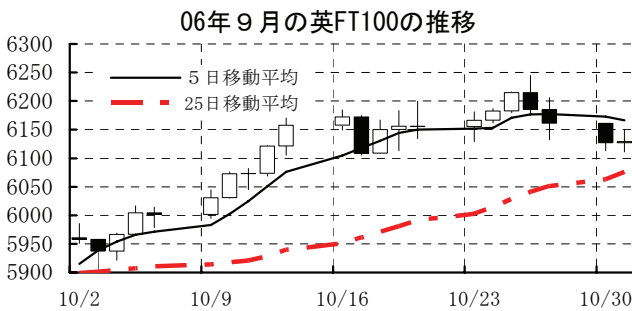
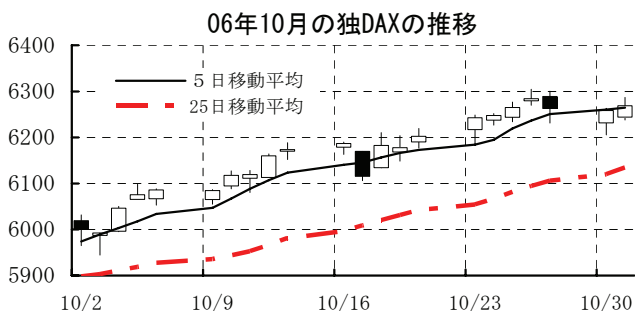
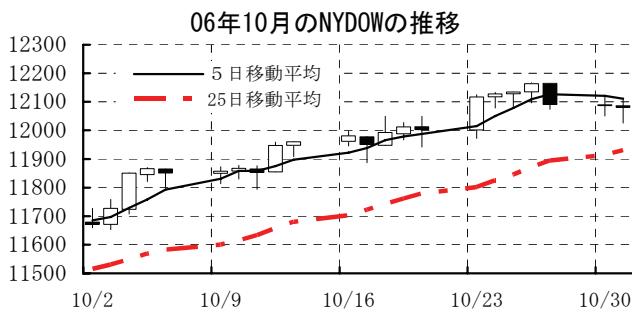
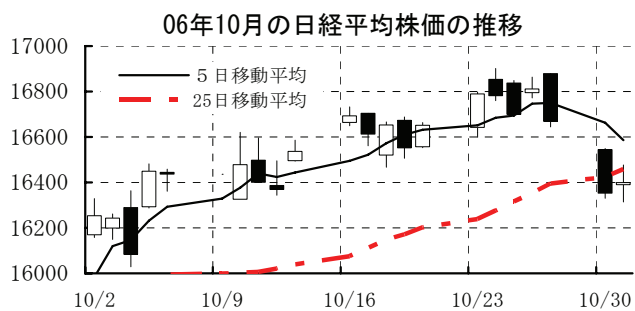
06年10月末の日本の10年債利回りは1.720%と、前月末対比+5.0bp上昇した。日銀短観のヘッドラインが市場の事前予想を上回ったことから、10月の金利は全般に上昇して始まった。その後も、米国経済のソフトランディング期待の高まりを背景に、金利は下旬にかけて上昇基調を辿った。逆に、下旬にはいると米国で新築住宅販売やGDPが予想対比下ぶれたことなどをきっかけに、再び景気の減速に目が向く格好となり、米国を中心に世界的に金利は低下に転じた。日本でも、海外金利の低下を受け、それまでの上昇をほぼ取り消す形となった。

米国金利は、月初はバーナンキFRB議長による“住宅部門は大規模な調整局面にある”との発言を受けて低下したものの、その後はインフレ警戒姿勢を示すFed高官の発言や、前月対比低下に転じた失業率などをきっかけに、利下げ期待が後退、金利は上昇基調を辿った。下旬以降は、弱めの指標が相次いだことなどから金利は大幅に低下、それまでの上昇分を取り消す形となった。10月末の米10年債利回りは4.598%と、前月末対比+2.0bpわずかながら上昇した。

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

【株式市場】

		前月の動き					過去の動き					
		月末値	月中高値	月中安値	前月末値	月間騰落率	月間騰落率					
							6カ月前	5カ月前	4カ月前	3カ月前	2カ月前	
株式	日本	日経平均	16,399.39	16,901.53	16,028.32	16,127.58	+1.7%	▲8.5%	+0.2%	▲0.3%	+4.4%	▲0.1%
		TOPIX	1,617.42	1,672.02	1,596.24	1,610.73	+0.4%	▲8.0%	+0.4%	▲0.9%	+4.0%	▲1.5%
	米国	NYDOW	12,080.73	12,167.02	11,653.06	11,679.07	+3.4%	▲1.7%	▲0.2%	+0.3%	+1.7%	+2.6%
		SP500	1,377.94	1,389.45	1,279.47	1,335.85	+3.2%	▲3.1%	+0.0%	+0.5%	+2.1%	+2.5%
		NASDAQ	2,366.71	2,379.29	2,224.21	2,258.43	+4.8%	▲6.2%	▲0.3%	▲3.7%	+4.4%	+3.4%
	英国	FT100	6,129.2	6,244.6	5,897.3	5,960.8	+2.8%	▲5.0%	+1.9%	+1.6%	▲0.4%	+0.9%
	ドイツ	DAX	6,268.92	6,304.78	5,944.57	6,004.33	+4.4%	▲5.3%	▲0.2%	▲0.0%	+3.1%	+2.5%

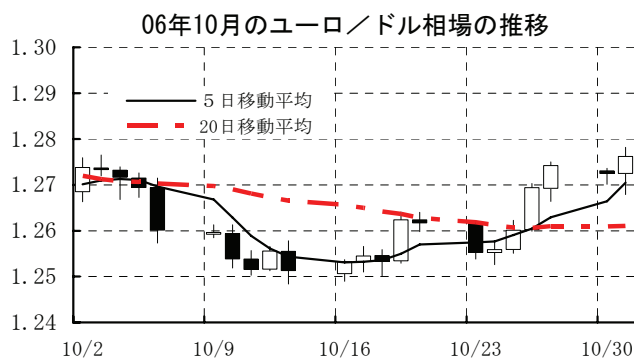
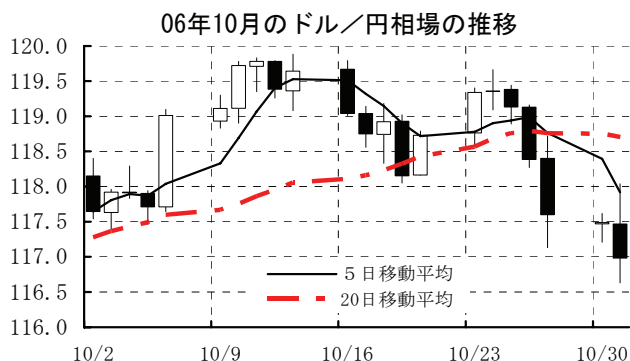


06年10月末の日経平均株価は16,399.39円（前月末比+1.7%）と前月水準を上回った。原油価格の下落やそれまでの金利の低下などを背景に、NYダウが2000年につけた史上最高値を連日高進していく中、日経平均もこれに追随する格好となった。特に、上旬は円安が進んだことも、輸出関連企業の収益にプラスとして、上昇要因となった。下旬以降は、日経平均が1万7千円に近づくにつれ頭の重さが顕著となり、市場の期待を下回る経済指標が目立つと、企業が発表する年度下期の業績予想が慎重なこともあって、売りに押される展開となった。

欧米市場も堅調な展開となった。NYダウは5日に終値ベースで史上最高値を更新すると、景気の過度の下ぶれ懸念が徐々に払拭する中、その後も連日高値を更新する展開となった。欧州市場もこれに追随する形で上昇基調を辿った。

【為替市場】

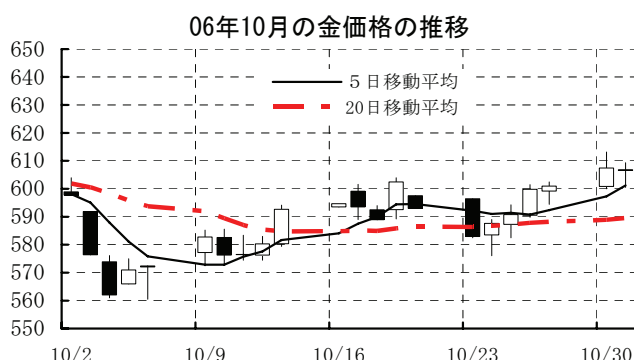
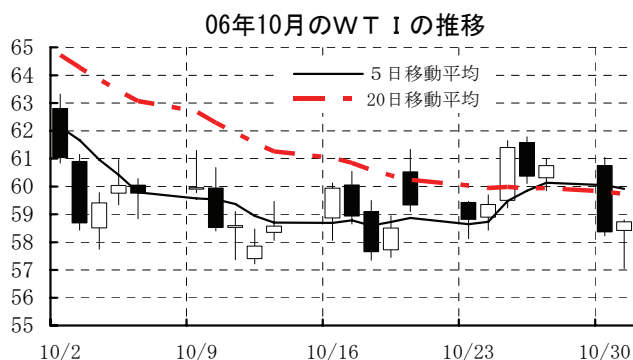
		前月の動き					過去の動き				
		月末値	月中高値	月中安値	前月末値	月間騰落率	月間騰落率				
為替	USD/JPY	116.98	119.88	116.63	118.18	+1.0%	6カ月前	5カ月前	4カ月前	3カ月前	2カ月前
	EUR/USD	1.2762	1.2782	1.2484	1.2674	+0.7%	+1.0%	▲1.6%	▲0.2%	▲2.4%	▲0.7%
	EUR/JPY	149.29	150.74	148.51	149.76	+0.3%	+1.4%	▲0.1%	▲0.2%	+0.4%	▲1.1%
							▲1.6%	▲1.8%	▲0.0%	▲2.8%	+0.4%



10月末のドル/円レートは1ドル=116.98円と、前月末比1円20銭の円高ドル安となった。月間ベースで円がドルに対して上昇したのは5ヶ月ぶり。ユーロ/円レートは1ユーロ=149.29円と、同47銭の円高ユーロ安。月前半は米利下げ期待の後退などを背景にドルが強含む展開となった。しかし、弱めの指標が目立った月後半以降は反転、ドルは初通貨に対して下落した。

【商品市場】

		前月の動き					過去の動き				
		月末値	月中高値	月中安値	前月末値	月間騰落率	月間騰落率				
商品	原油 WTI (期近)	58.73	63.32	57.05	62.91	▲6.6%	6カ月前	5カ月前	4カ月前	3カ月前	2カ月前
		金 CMX (期近)	606.8	613.2	560.5	598.6	+1.4%	+1.1%	+3.7%	+0.6%	▲5.6%
							▲1.8%	▲4.1%	+3.0%	▲0.9%	▲4.7%



10月末のWTI (期近物) は1バレル=58.73ドルと、前月末比▲6.6%下落。月初に大きく下げた後は、60ドルを挟んで一進一退の推移が続いた。OPECが日量120万バレルの減産を決定したものの、冬場に需要期を迎えるヒーティングオイルの需給がだぶついていることなどを背景に、価格押し上げ要因にはならなかった。

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。